

<取材のお願い>

2024年2月13日

桜美林大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

マレーシアとタイの学生が日本遺産・八王子の取り組みを学ぶ ～桜美林大学の学生と共に、地域文化や環境に配慮したサステナブルツーリズムを提案～

桜美林大学ビジネスマネジメント学群では、2月18日（日）～2月24日（土）、マレーシアのサンウェイ大学とタイのマヒドン大学より大学生8名、教員2名、計10名を招へいし、「日本遺産・八王子から学ぶ～サステナブルツーリズム（持続可能な観光）に関する取り組み」をテーマに科学技術体験プログラムを実施します。今回来日するのは、ホスピタリティマネジメント（サンウェイ大学）や、環境保護および持続可能な開発（マヒドン大学）等を学ぶ優秀な学生たちです。

近年、世界各国がインバウンドを強化する中、オーバーツーリズムによる環境汚染や自然破壊などが起きています。この反省から、「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」では、地域の文化や環境に配慮したサステナブルツーリズムを提唱しています。

本プログラムは、日本遺産に登録され、世界各国から訪れる観光客を魅了する八王子市の事例から、サステナブルツーリズムについて学ぶことを目的としています。

八王子市は、市の基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」の中で、市民・事業者・行政の「オール八王子」で脱炭素社会の実現に向けて、全力で取り組んでいます。さらに、地域ならではの貴重な文化と、自然環境を未来へ継承できるように様々な取り組みを行っています。また、養蚕や織物が盛んだったことから「桑都（そうと）」と呼ばれ、甲州道中最大の宿場町として栄えた八王子市ならではの文化・自然環境が、日本遺産に登録されました。

本プログラムでは、サステナブルな旅を企画販売している企業および大学教員から日本のサステナブルツーリズムについての講義のほか、八王子市内を視察し、市内の企業や地域でのサステナブルツーリズムとカーボンニュートラルに関する取り組みを実際に五感で体感し学びます。さらに、2月23日（金）には本学の学生とマレーシアおよびタイの学生が、八王子市での具体的な事例を踏まえ、自国でどのような取り組みを行うことができるのか検討し、最終プレゼンで発表します。

本プログラムにより3大学の学生、教職員が交流することで、観光人材育成に重要な役割を果たすことが期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プロ

ogramでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、招へい者と本学の学生が八王子市内を視察する様子、最終プレゼンで発表する様子、意見交換会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の尾川佳子専任准教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●講義「サステナブルツーリズムの目標と課題」ほか ●八王子市内視察
●カーボンニュートラルに貢献する産学連携の事例紹介
●日本科学未来館訪問 ●最終プレゼン ●意見交換会

【実施場所】桜美林大学新宿キャンパス、八王子市

【研修日程概要】

2月18日(日)	午後：来日
2月19日(月)	午前：オリエンテーション、アイスブレイク（桜美林大学新宿キャンパス） 午後：日本科学未来館訪問
2月20日(火)	午前：＜Tricolage 株式会社による講義＞①日本におけるサステナブルツーリズムの実践的な取り組み、②ワークショップ（桜美林大学新宿キャンパス） 午後：＜尾川佳子専任准教授による講義＞①日本のホスピタリティ産業の現状、②日本遺産と八王子のサステナブルツーリズムについて（同上）
2月21日(水)	終日：八王子市内視察。日本遺産登録事業&伝統文化と環境の継承事例紹介：高尾山、うかいグループ、黒堀通り「ゆき乃恵」、八王子酒造訪問とワークショップ
2月22日(木)	午前：カーボンニュートラルに貢献する産学連携の事例の紹介『八王子のユニークなサステナブルツーリズムを考える』（桜美林大学新宿キャンパス） 午後：グループワーク（同上）
2月23日(金)	午前：最終プレゼン、意見交換会（桜美林大学新宿キャンパス） 午後：終了式（同上）
2月24日(土)	離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

桜美林大学 新宿キャンパス事務室
(担当：ファン)

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form (担当：田中(禎)、太田)